

平成 25 年 1 月 21 日

大阪市長 橋下 徹 様

大阪南港野鳥園を存続させる会  
代表 高田 直俊

## 大阪南港野鳥園の存続に関する要望書

題記の件につきまして早急な対処をしていただきたく、下記の通りお願い申し上げます。

記

### 1. 要望趣旨

平成 24 年 7 月 30 日、大阪市が策定した「市政改革プラン」の「アクションプラン編別冊」の「市民利用施設のあり方の検討」の中で、大阪南港野鳥園は、「公共が関与する必要性の低い事業である。料金非設定で、税等を投入して継続する合理性が低い。」という理由から、25 年度末の指定管理者期間切れを見据えて、「現有の干潟や湿地のあり方等を総合的に勘案して、収支均衡方策の検討と併せて、施設(展望塔等)の存廃も検討」とあります。

しかしながら、以下の理由から、大阪南港野鳥園は国内外にとっても重要な施設で、公共が関与する必要性が高い事業であることから、大阪南港野鳥園(展望塔等)の現状を維持した存続及び管理運営を要望し、この要望書に対する市の回答を求めます。

### 2. 要望理由

#### 【開園と市民による活動】

大阪南港野鳥園は、シギ・チドリ類の保護とその渡来環境を南港埋立地に復元することを目的とした 1969 年からの市民運動の結果、1971 年に大阪市が野鳥園設置を決定し、1983 年に開園しました。開園後、地元 NGO/NPO によって、シギ・チドリ類や干潟の生きもののモニタリングを継続し、それに基づく行政への提案により干潟の様々な改良工事が行われ、また、干潟の順応的管理が市民や研究者も加わり行われてきました。

#### 【国内外での重要性】

シギ・チドリ類は、干潟などの湿地に生息し、その種の多くが渡り鳥で、越冬地はオーストラリアやニュージーランド、繁殖地はシベリアやアラスカです。継続した環境改善と保全活動の結果、自然海岸が失われた大阪湾にとって大阪南港野鳥園は、世界的にも減少しているシギ・チドリ類の関西における重要な渡りの中継地となりました。このことから、

- 国家的戦略である「アジア・太平洋地域渡り性水鳥保全戦略」の「東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップに基づく重要生息地ネットワーク（現名称）」に大阪市が参加。
- 生物多様性条約に基づいた「第三次生物多様性国家戦略」で提唱されている環境省「モニタリングサイト 1000 シギ・チドリ類調査」の重要調査地点に指定。

- 「IBA (野鳥の重要生息地)」、「KBA (生物多様性の鍵となる重要地域)」に選定。
- 環境省「日本の重要湿地 500」に選定。

#### 【市民の多様なニーズに対応した無料施設】

市内の海辺にある施設で、老若男女を問わず、野鳥の観察や撮影を楽しむことができ、散策、ウォーキング、ランニング、サイクリングの休息施設であり、展望塔からの大阪湾の風景（夕日、蜃気楼、大型クルーズ船など）を楽しむこともできる施設です。これは当園が無料で気軽に利用でき、2006年から専門知識があるレンジャーが常駐したことで平日休日を問わず、多様なニーズに応えることが可能になったためです。

#### 【市民ボランティアによる干潟環境保全】

市民ボランティアによる清掃、ヨシ刈り、アオサ取りなどの干潟保全活動が継続して行われ、企業による清掃も継続実施されています。大阪市港湾局の「リフレッシュ瀬戸内」、「クリーンアップキャンペーン」、海上保安庁第五管区海上保安本部の「大阪湾クリーン作戦」などのボランティアを募っての清掃も定期的に行われています。継続した市民参加型の環境保全活動に対し、「平成 22 年度手作り郷土賞」（大賞部門）にも選ばれ、大阪南港野鳥園は、市民ボランティアの環境保全活動の場として定着してきました。

これらの保全活動等を再業務委託すると、現在の施設維持管理費よりもコストがかかると共に、業務委託先もありません。

#### 【環境学習・体験学習の場】

大阪南港野鳥園は、大阪湾岸で見られる干潟の生きものや渡り鳥について市民が体験学習できる貴重な海辺の施設となっています。平日のプログラムでは、住之江区の住民を主体とした生涯学習、地元小学校や高校での環境教育の授業、大学のインターンシップ、大阪市職員の環境技術研修などが、レンジャーのサポートによって行われ、環境学習の場としての施設利用が図られています。また、大阪市立大学大学院工学研究科は、南港野鳥園の干潟を対象として研究に取り組み、その成果が南港野鳥園の環境改善や大阪湾の環境改善に活かされています。

#### 【不法侵入の監視】

釣り人の不法侵入、干潟での釣り餌の不法採集、園内立入禁止区域への侵入による野鳥への悪影響など、不法侵入者への対策には展望塔からの常時監視が必要です。

### 3. 要望事項

- ① 大阪南港野鳥園展望塔等の存続。
- ② 大阪南港野鳥園展望塔の無料供用。
- ③ 指定管理者による施設の管理運営の維持（レンジャーの常駐など）。

本要望事項について橋下徹大阪市長による回答を平成 25 年 2 月 15 日の期間厳守でお願いいたします。

以上

**【提出団体：大阪南港野鳥園を存続させる会】**

- ・日本野鳥の会 大阪支部  
支部長 橋本 正弘
- ・公益社団法人大阪自然環境保全協会  
会長 夏原 由博
- ・NPO 法人南港ウェットランドグループ  
理事長 高田 博
- ・日本野鳥の会ひょうご  
代表 奥野 俊博
- ・特定非営利活動法人日本バードレスキュー協会  
理事長 村濱 史郎

(以上 5 団体)

**【賛同団体】** (順不同)

公益財団法人日本野鳥の会、公益財団法人日本自然保護協会、一般社団法人バードライフ・インターナショナル・アジア・ディビジョン、NPO 法人バードリサーチ、NPO 法人ラムサール・ネットワーク日本、シニア自然カレッジ、淀川自然観察会、浜寺公園自然の会、特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 自然部会、西淀自然文化協会、TEAM 魚っしょい！ (大阪府)、NPO 法人エスペランサ (住之江区内の地域活動団体)、NPO 法人み・らいず (住之江区内の地域活動団体)、有限会社アルブル木工教室 (住之江区)、安立☆ミュージックストリート (住之江区)、手づくり新聞「瓦版や」 (住之江区)、地域活性化支援センター朱雀のつばさ (住之江区)、咲洲 CLASS 実行委員会 (住之江区)、中津動物病院 (堺市)、NPO 法人野鳥の病院、野生動物救護獣医師協会WRV大阪支部、日本野鳥の会京都支部、日本野鳥の会奈良支部、日本野鳥の会 和歌山県支部、日本野鳥の会 滋賀、堺野鳥の会、泉北野鳥の会、河内長野野鳥の会、とくしま自然観察の会 (徳島県)、NPO 法人藤前干潟を守る会 (愛知県)、西三河野鳥の会 (愛知県)、汐川干潟を守る会 (愛知県)、東三河野鳥同好会 (愛知県)、認定 NPO 法人徳野鳥観察舎友の会 (千葉県)、千葉市野鳥の会 (千葉県)、水鳥研究会 (千葉県)、NPO 法人ふくおか湿地保全研究会 (福岡県)、八代野鳥愛好会 (熊本県)、NPO 法人水辺に遊ぶ会 (大分県)、沖縄野鳥の会 (沖縄県)

(以上 40 団体)

**【本要望書に関する連絡先】**

大阪南港野鳥園を存続させる会 事務局  
公益社団法人大阪自然環境保全協会  
理事 岡 秀郎  
所在地 〒530-0041 大阪市北区天神橋 1 丁目 9 番 13 号 ハイム天神橋 202 号  
電話番号 06-6242-8720 FAX 番号 06-6881-8103  
Email : office@nature.or.jp